



## 統計

この章では、Cisco Nexus Dashboard Data Broker の接続とコンポーネントの統計について詳しく説明します。

リリース 3.10.1 から、Cisco Nexus Data Broker (NDB) の名前は、Cisco Nexus Dashboard Data Brokerに変更されました。ただし、GUIおよびインストールフォルダ構造と対応させるため、一部のNDBのインスタンスがこのドキュメントには残されています。NDB/Nexus Data Broker/Nexus Dashboard Data Brokerという記述は、相互に交換可能なものとして用いられています。

- [接続 \(1 ページ\)](#)
- [フィルタ \(2 ページ\)](#)
- [\[フロー \(Flows\) \] \(2 ページ\)](#)
- [入力ポート \(3 ページ\)](#)
- [TCAM リソース使用率 \(3 ページ\)](#)
- [モニタリングツール \(4 ページ\)](#)
- [ポート \(4 ページ\)](#)

## 接続

[[接続 \(Connections\)](#)] タブには、Nexus Dashboard Data Broker コントローラで構成された接続のリストが表示されます。

次の詳細を示す表が表示されます。

列名	説明
接続 (Connection)	接続名。 このフィールドはハイパーリンクです。接続の名前をクリックして、接続に関する詳細情報を取得します。関連するアクションについては、 <a href="#">接続</a> のセクションを参照してください。
パケット数 (Packet Count)	接続の集約トラフィックのボリュームをパケット数で表した値。

## フィルタ

[フィルタ (Filter) ] タブには、接続で使用されるフィルタが表示されます。

次の詳細を示す表が表示されます。

列名	説明
[フィルタ (Filter) ]	フィルタ名。 これはハイパーリンクになっています。フィルタの詳細については、 <a href="#">フィルタ</a> の名前をクリックしてください。関連するアクションについては、 <a href="#">フィルタセクション</a> を参照してください。
[パケット数 (Packet Count) ]	フィルタのパケットで表示される集約トラフィック ボリューム。

## [フロー (Flows) ]

[フロー (Flows) ] タブには、NDB デバイスのデバイス フローが表示されます。

[デバイスの選択 (Select Device) ] をクリックして、フロー統計を取得する NDB デバイスを選択します。別のデバイスのフロー統計を取得する場合は、[デバイスの変更 (Change Device) ] をクリックします。

次の詳細を示す表が表示されます。

列名	説明
[入力ポート (In Port) ]	トラフィックの照合が行われる入力ポート。
[DL 送信元 (DL Src) ]	着信トラフィックと照合される送信元 MAC アドレス。
[DL 接続先 (DL Dst) ]	着信トラフィックと照合される接続先 MAC アドレス。
[DL タイプ (DL Type) ]	着信トラフィックと照合されるイーサタイプ。たとえば、 <a href="#">IPv4</a> または <a href="#">IPv6</a> は、すべての IP トラフィック タイプに使用されます。
[DL VLAN]	着信トラフィックと照合される VLAN ID。
[VLAN PCP]	着信トラフィックと照合される VLAN 優先順位。

列名	説明
[NW 送信元 (NW Src) ]	着信トラフィックのIPv4またはIPv6送信元アドレス。
[NW 接続先 (NW Dst) ]	着信トラフィックのIPv4またはIPv6接続先アドレス。
[NW プロトコル (NW Proto) ]	着信トラフィックと照合されるネットワークプロトコル。たとえば、「6」はTCPプロトコルを示します。
[TP 送信元 (TP Src) ]	着信トラフィックと照合されるネットワークプロトコルに関連付けられた送信元ポート。
[TP 接続先 (TP Dst) ]	着信トラフィックと照合されるネットワークプロトコルに関連付けられた接続先ポート。
[パケット数 (Packet Count) ]	指定されたフロー接続にマッチするパケット数で表された集約トラフィック ボリューム。

## 入力ポート

[入力ポート (Input Ports) ]タブには、NDBデバイスの入力ポートのパケット数の詳細が表示されます。

次の詳細を示す表が表示されます。

列名	説明
[入力ポート (Input Ports) ]	デバイス名の入力ポート。  入力ポートをクリックして、入力ポートの詳細を取得します。関連するアクションについては、 <a href="#">入力ポート</a> セクションを参照してください。
[パケット数 (Packet Count) ]	入力ポートでの集約トラフィック ボリュームをパケット単位で表示したものです。

## TCAM リソース使用率

[TCAM リソース使用率 (TCAM Resource Utilization) ]タブには、NDBデバイスのTCAMリソース使用率の詳細が表示されます。

次の詳細の表が表示されます。

表 1: TCAM リソース使用率

列名	説明
Device	デバイス名 このフィールドはハイパーリンクです。デバイスの詳細については、 <a href="#">デバイス</a> の名前をクリックしてください。関連するアクションについては、 <a href="#">デバイス</a> セクションを参照してください。
[使用率 (Utilization) ]	使用パターン。色によって示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑：TCAM 使用率が最適であることを示します。</li> <li>・オレンジ：TCAM 使用率が範囲内にあることを示します。</li> <li>・赤：TCAM 使用率が上限に近づいていることを示します。</li> </ul>

## モニタリングツール

[モニタリング ツール (Monitoring Tools) ] タブには、NDB コントローラに接続されているモニタリング ツールのポートが表示されます。

次の詳細を示す表が表示されます。

列名	説明
[モニタリング ツール (Monitoring Tools) ]	モニタリング ツール名。 このフィールドはハイパーリンクです。詳細については、モニタリング ツールの名前をクリックしてください。関連するアクションについては、 <a href="#">モニタリング ツール</a> のセクションを参照してください。
Tx パケット	モニタリングツールポートによって送信されたパケットの数。

## ポート

[ポート (Ports) ] タブには、NDB デバイスのポートの統計が表示されます。

[デバイスの選択 (Select Device)] をクリックして、選択したデバイスのポートの詳細を取得します。[デバイスの変更 (Change Device)] をクリックして、別のデバイスを選択します。

次の詳細を示す表が表示されます。

列名	説明
<b>Port</b>	統計が表示されるデバイスのインターフェイス。 これはハイパーリンクです。詳細については、ポートをクリックしてください。
[Rx パケット数 (Rx Pkts)]	ポートで受信したパケットの数。
[Tx パケット数 (Tx Pkts)]	ポートで送信したパケットの数。
[Rx バイト数 (Rx Bytes)]	ポートで受信したバイト数。
[Tx バイト数 (Tx Bytes)]	ポートで送信したバイト数。
[Rx レート (kbps) (Rx Rate)]	パケットの受信レート。
[Tx レート (kbps) (Tx Rate)]	パケットの送信レート。
[Rx ドロップ (Rx Drops)]	ポート (Rx) でパケットがドロップされる割合。
[Tx ドロップ (Tx Drops)]	ポート (Tx) でパケットがドロップされる割合。
[Rx エラー (Rx Errs)]	パケット受信中のポートでのエラー。
[Tx エラー (Tx Errs)]	パケット送信中のポートでのエラー。
[Rx フレーム エラー (Rx Frame Errs)]	パケット受信中のポートでのフレームエラー。
[Rx オーバーラン (Rx OverRun)]	パケットの受信中にポートでオーバーランエラーが発生しました。

[アクション (Actions)] > [ポートのクリア (Clear Ports)] をクリックして、選択したデバイスの統計データをクリアします。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。